

不燃・吸音メッシュ クリアライトロン® D-3000

吸音性

高い吸音率を実現
NRC値0.59

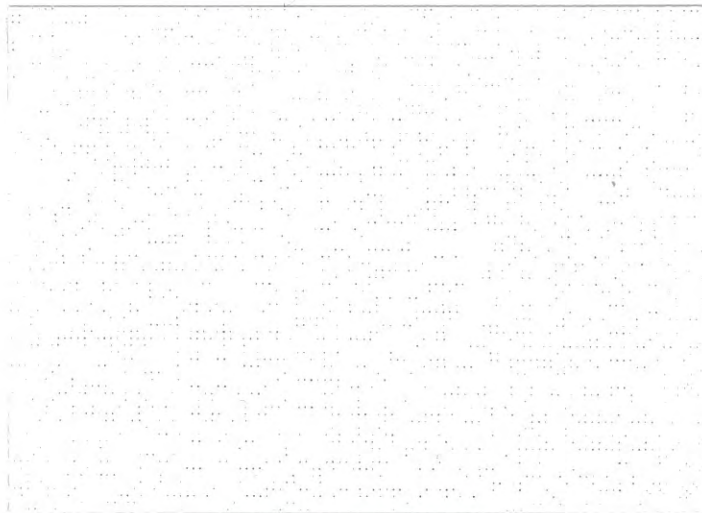
不燃性

不燃認定材料
(国土交通大臣認定品)

シックハウス
対策

文部科学省の
学校環境衛生の
基準に対応

※掲載している写真はイメージです。



ホワイト [透光率 19.7%]



用途 膜天井・間仕切り・インテリア

材質 〈基布〉ガラス繊維
〈樹脂〉ポリ塩化ビニル (PVC)

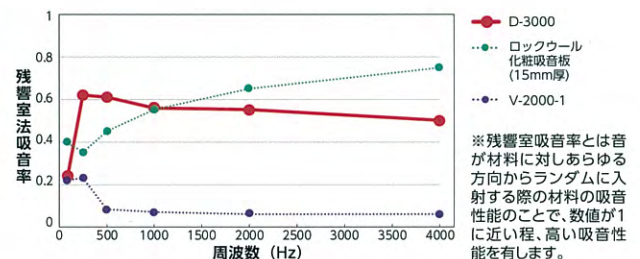
規格 204cm×30m(乱)巻

※ウェルダー溶着可、ライスター溶着不可
(PVCフィルム挟み込みを条件とする)

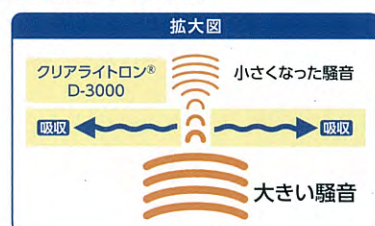
■吸音率データ(背後空気層300mm)

N.R.C.とは 250Hz、500Hz、1000Hz、2000Hzでの吸音率の平均値

周波数 (Hz)	クリアライトロン D-3000	当社従来品シート (クリアライトロン V-2000-1)	ロックウール 化粧吸音板 (15mm厚)
N.R.C.*	0.59	0.11	0.50
125	0.24	0.22	0.40
250	0.62	0.23	0.35
500	0.61	0.08	0.45
1000	0.56	0.07	0.55
2000	0.55	0.06	0.65
4000	0.5	0.06	0.75



■吸音のしくみ



クリアライトロン®D-3000は壁面や天井面との間に空間をもたせることで、吸音性能を発揮します。
D-3000の微細な孔が、音のエネルギーを吸収し、より小さい音として膜の裏側に透過し、膜の裏側で反響した音は、再び膜に当たることで、微細孔のエネルギーの吸収により、さらに小さい音になります。



平岡織染株式会社

■物性データ

品番	幅 (cm)	長さ (m)	質量 (g/m)	厚さ (mm)	引張強さ (N/3cm)	伸び率 (%)	引裂強さ (N)	防災製品番号 (公財)日本防災協会	不燃認定番号
クリアイトロン® D-3000	204	30乱	395	0.34	2100×2100	3.5×5.0	110×120	FR-02034	NM-4684
試験方法	JIS L 1096				JIS L 1096 A	JIS L 1096 A	JIS L 1096 C		

※上記物性データはJIS・(公財)日本防災協会が定める測定法に基づいた測定値であり、保証値ではありません。

■落下試験データ

膜天井への屋根部構成材の破片等の落下を想定し、試験体(シート)に1mの高さから10kgのコンクリートブロックを落とす実証試験を行いました。結果、D-3000に貫通はありませんでした。(※試験方法:当社法)

■不燃認定材料(国土交通大臣認定について)

不燃材料認定番号…建築基準法第68条の25第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む)の規定に基づき、同法第2条第九号及び同法施工例108条の2第一号から第三号まで(不燃材料)の規定に適合するものであり、国土交通大臣の認定を受けたものに付される登録番号。

※裏面側は50mm以上の空間を設けるか、または不燃材料とする。ただし、接着は行わないものとする。

■シックハウス対策品について

文部科学省の学校環境衛生の基準に対応しています。

※学校環境衛生の基準で指定されているホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレンは基準値をクリアしています。



注意事項

1. 本カタログに記載している製品は日本国内向けです。
2. 使用前に必ずサイドラベルの品名・品番・色相・ロットNo.・規格をご確認ください。
3. 保管は、高温・多湿を避け、冷暗で平坦な場所に置き、変形するような積み方はしないでください。
4. 長期間、保管されていた製品は、使用前に物性低下の有無をご確認ください。
5. 極低温・極高温向けには設計されておりませんので、これらの用途に使用場合は必ず弊社までご相談ください。
6. 熱融着による接合の際は、臭気が発生することがありますので、必ず作業場を換気してください。
7. 高周波ウェルダーで溶着する際は、溶着部分に導電性を有する物質が付着していると、まれにスパークを起こすことがありますので、ウェルダーバー及び膜材料の溶着部分に付着物の無い状態で溶着してください。
8. 洗浄する場合は、中性洗剤を浸した柔らかいスポンジ等でふき取り、十分に水洗いし乾燥してからご使用ください。
9. サンプルの色相は、出荷時の現物の色相と若干違いがある場合があります。予めご了承ください。
10. 透光差がありますので、同一縫製品には、同一ロットNo.の使用をおすすめします。
11. UVカットについて:紫外線とは300nm～380nmの放射をさし、JIS A 5759に基づいてUVカット率を算出しています。UVカット率95%以上を対象にマークを掲載しております。
12. 廃棄される際は、下記の方法で処理してください。
(1)廃棄物処理法、都道府県条例等に従ってください。(2)許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
13. 質問・問い合わせ、より詳しい資料が必要でしたら、取扱店または弊社までご連絡ください。
14. 本カタログの記載内容は改善のため事前に予告なしに変更することがあります。
15. ガラス繊維は折り曲げに弱い性質があります。縫製時及び取り付けの際は、折り曲げ等に十分にご注意ください。
16. 屋根面での使用はお控えください。
17. 縫い込みロープ、ハトメ部分の縫製時には必ず補強布を内側に当ててご使用ください。
18. RoHS2は2020年1月製造分より対応しております。
19. 建築基準法第37条第二号に関する認定番号(建築材料の品質)を取得しておりません。テント倉庫、膜構造建築物の屋根・外壁には使用できません。



平岡織染株式会社 HIRAOKA & CO., LTD. <https://www.tarpo-hiraoka.com/>

東京 〒110-0011 東京都台東区三ノ輪1-21-7 TEL.03-3876-2111 FAX.03-3875-5627

大阪 〒541-0044 大阪市中央区伏見町4-2-14 TEL.06-6209-7000 FAX.06-6209-7011